

第58回研究発表会 熊本大会 プログラム

大会日程：2019年8月20日(火)～8月23日(金)

- 8月20日(火) 県民講演会 18：00～20：00

KKRホテル熊本 2階(五峯・城彩)
〒860-0001 熊本市中央区千葉城町3-31
TEL 096-355-0121(代表) FAX 096-355-7955
<http://kkh-hotel-kumamoto.com/>

18:00～19:00

「近年の気象災害と、災害から身を守るために」
講師： 早田 蚩 (防災WEST、日本気象予報士会所属)

19:00～20:00

「熊本地震からの復旧・復興」
講師： 北園 芳人 (熊本大学 名誉教授)

- 8月21日(水) 開会式・特別講演・研究発表会・意見交換会

KKRホテル熊本
〒860-0001 熊本市中央区千葉城町3-31
TEL 096-355-0121(代表) FAX 096-355-7955
<http://kkh-hotel-kumamoto.com/>

受付 9：00～10：00
開会式 10：00～10：40
特別講演 10：40～12：00

「熊本地震から三年」
講師： 北園 芳人 (熊本大学 名誉教授)

研究発表会 13：00～17：00
意見交換会 18：00～20：00

- 8月22日(木) 研究発表会・閉会式

研究発表会 9：00～12：00
ポスターセッション・コアタイム 13：00～14：00
研究発表会 14：00～15：30
閉会式 15：45～16：00

- 8月21日(水)～22日(木) 新技術紹介セッション

8月21日(水) 13:00～17:00

8月22日(木) 9:00～15:00

- 8月23日(金) 現地見学会

* Aコースは8月22日(木)移動

研究発表会 発表プログラム

会場		第1会場 五峯	第2会場 城彩	第3会場 有明・不知火
		28件	31件	28件
8月21日 (水)	13:00	13:00～14:15 特別セッション1 「地震により発生するテフラ層すべり」 1-1～1-5(5件)	13:00～14:15 事例報告(1) 2-1～2-5(5件)	13:00～14:15 地すべり調査・計測(1) 3-1～3-5(5件)
	～	14:30～15:30 特別セッション1 「地震により発生するテフラ層すべり」 1-6～1-9(4件)	14:30～15:30 事例報告(2) 2-6～2-9(4件)	14:30～15:30 地すべり調査・計測(2) 3-6～3-9(4件)
	17:00	15:45～16:45 特別セッション1 「地震により発生するテフラ層すべり」 1-10～1-11(2件) + 討論	15:45～17:00 事例報告(3) 2-10～2-14(5件)	15:45～17:00 地すべり調査・計測(3) 3-10～3-14(5件)
		16:45～17:00 ICL説明会(WLFの紹介)		
8月22日 (木)	9:00	9:00～10:15 地すべり調査・計測(4) 1-12～1-16(5件)	9:00～10:15 地すべり機構(1) 2-15～2-19(5件)	9:00～10:15 特別セッション2 「地すべり防災にかかわる日本とアジア 諸国の国際共同研究」 3-15～3-19(5件)
	～			
	12:00	10:30～12:00 対策・維持管理 1-17～1-22(6件)	10:30～12:00 地すべり機構(2) 2-20～2-25(6件)	10:30～12:00 特別セッション2 「地すべり防災にかかわる日本とアジア 諸国の国際共同研究」 3-20～3-23(4件) + 討論
	12:00 ～ 13:00	(休憩)		
	13:00 ～ 14:00	ポスターセッションコアタイム		
	14:00 ～ 15:30	14:00～15:30 事例報告(4) 1-23～1-28(6件)	14:00～15:30 地すべり機構(3) 2-26～2-31(6件)	14:00～15:15 斜面安定 3-24～3-28(5件)
	15:45 ～ 16:00	15:45～16:00 閉会式		

(公社)日本地すべり学会 研究発表会 熊本大会 発表プログラム

■口頭発表 1日目(8月21日)

【第1会場】

番号	発表者	発表演題	連名発表者
13:00～14:15 特別セッション1「地震により発生するテフラ層すべり」 座長:木村諒(防災科学技術研究所) 石丸聡(北海道立総合研究機構地質研究所)			21日第1会場
1-1	木村諒 防災科学技術研究所	地震に起因するテフラ層すべりの発生場と規模の予測に向けた 崩壊履歴調査の重要性	
1-2	石丸聡 北海道立 総合研究機構地質研究所	北海道胆振東部地震で生じた谷頭凹地を発生源とするテフラ層すべり	廣瀬亘 川上源太郎 奥水健一 小安浩理 田近淳 千木良雅弘
1-3	田近淳 株式会社ドーコン	2018年北海道胆振東部地震によるテフラ層すべりと人的被害	雨宮和夫 千木良雅弘 石丸聡
1-4	杉本宏之 国立研究開発法人土木研究所	樹脂固定標本観察による葉ノ木平地すべりの崩壊土砂底面の堆積構造	神山嬢子 櫻本智美 斎藤翼
1-5	西山賢一 徳島大学	阿蘇カルデラ・高野尾羽根火山北斜面における 地すべり移動体の内部構造(その2)	鳥井真之
14:30～15:30 特別セッション1「地震により発生するテフラ層すべり」 座長:後藤聡(山梨大学)			21日第1会場
1-6	笹原克夫 高知大学	阿蘇外輪山上部のテフラ堆積斜面の繰り返し降雨による変形メカニズム	内村太郎 平岡伸隆 土佐信一 遊佐直樹 板山達至 王林 西條敦志
1-7	長谷川陽一 国土防災技術株式会社	地震により発生した地すべりのテフラの物理性の検討 -熊本地震と北海道胆振東部地震での比較-	金澤瑛
1-8	梅村順 日本大学工学部	平成23年東北地方太平洋沖地震時に福島県内火山灰丘陵で生じた 地すべり性崩壊について新たに得た2,3の知見	
1-9	中村真也 琉球大学	2016年熊本地震高野台地区地すべりの不撓乱採取土の変形特性	木村匠 野田翔兵
15:45～16:45 特別セッション1「地震により発生するテフラ層すべり」 座長:石丸聡(北海道立総合研究機構) 後藤聡(山梨大学)			21日第1会場
1-10	王功輝 京都大学	2018年北海道胆振東部地震により発生したテフラ層地すべりについて	古谷元 土井一生
1-11	雨宮和夫 防災地質工業株式会社	北海道胆振東部地震によるテフラの高速地すべり機構 -土質工学的検討	中川雄平
		(討論)	
16:45～17:00		ICL説明会	

【第2会場】

番号	発表者	発表演題	連名発表者
13:00～14:15 事例報告(1) 座長:堀松崇(株式会社 興和)			21日第2会場
2-1	土志田正二 消防研究センター	阿蘇地域における降雨・地震で発生した崩壊分布の特徴	
2-2	遊佐直樹 国土防災技術株式会社	立野地区における熊本地震およびその後の降雨による土砂移動について	佐藤亜貴夫 小嶋孝徳
2-3	滝口潤 明治コンサルタント株式会社	平成29年九州北部豪雨により発生した朝倉市向原地すべりの素因	松門祐二 岩村尚樹 清水純
2-4	今村隆正 株式会社 防災地理調査	佐賀県の土砂災害の歴史	彌富涼子 今村智美
2-5	松本敏 日本工営株式会社	大分県日田市小野地区の地すべり発生機構	大友恒平 渡辺誠治
14:30～15:30 事例報告(2) 座長:高見智之(国際航業株式会社)			21日第2会場
2-6	荻田茂 奥山ボーリング株式会社	秋田県・崩ヶ沢地すべりにおける岩盤地すべりの特徴	宮澤駿太郎 伊藤啓太 阿部真郎
2-7	山崎勉 国土防災技術株式会社	9千年前以前に発生した山体変形が地震により滑動した事例	
2-8	小林慶之 日本工営株式会社	和歌山県田辺市市街地における初生地すべり発生事例	中西敏夫 天野拓士
2-9	藤平大 一般財団法人 砂防地すべり技術センター	ウクライナ国ミコライウ市地先の地すべり調査	

■口頭発表 1日目(8月21日)

【第2会場】

15:45 ~ 17:00 事例報告(3)					21日第2会場		
座長:土井一生(京都大学防災研究所)							
2-10	鄒青穎	弘前大学	樹木年齢幅を用いた地すべり変動履歴の推定: 白神山地におけるサンスケ沢地すべりを例として		石川幸男	古川楓	檜垣大助
2-11	藤原美波	国土防災技術株式会社	¹⁴ C年代測定による深層崩壊発生年代の調査方法		小川内良人 田中健貴	横山修 木下篤彦	土佐信一
2-12	鈴木真悟	一般財団法人 砂防・地すべり技術センター	月山地区志津地すべりのすべり面形状について -その2-		相楽渉 村岡章	武土俊也 丸井英明	光永健男
2-13	小塚朋子	株式会社日さく	胆振東部地震による斜面崩壊の2・3の現地調査資料について		鮑沁	古谷尊彦	
2-14	佐藤琢	日本工営株式会社	瀬戸内海の離島で発生した地すべりについて		後藤寛和 山本淳也	中村武志 浅野康	坂啓惟

【第3会場】

番号	発表者		発表演題	連名発表者		
13:00 ~ 14:15 地すべり調査・計測(1)				21日第3会場		
座長:高山陶子(アジア航測株式会社)						
3-1	寺田剛	農林水産省九州農政局	UAV搭載型レーザスキャナによる地すべり詳細地形調査への適用性検証	佐藤透 中村健一	原郁男 宮下大明	小德基 高橋弘
3-2	竹内均	株式会社 日さく	航空レーザー測量データを用いた地形解析技術の活用	竹田知史	古谷尊彦	
3-3	落合達也	アジア航測株式会社	UAV - LPを用いた地すべり調査の試行	田中倫久	北村啓太郎	藤元栄一
3-4	田中康博	応用地質株式会社	新潟県大所地すべりでのだいち2号干渉SAR解析による変動域	平田諒次 井原拓二	蚊爪康典	瀬戸秀治
3-5	井口隆	防災科学技術研究所	地すべり地形分布図の誘因別の的中度について(その2)	木村諤	山田隆二	

14:30 ~ 15:30 地すべり調査・計測(2)			21日第3会場			
座長:宮城輝一((一財)砂防地すべり技術センター)						
3-6	石川昌幹	東邦地水株式会社	下層風が微地形の降雨特性に及ぼす影響-三重県熊野市清水谷において-	酒井俊典 玉置康大 古根川竜夫	西井和晃 後誠介 油井恒彦	岡島賢二 石田優子
3-7	山崎新太郎	京都大学防災研究所	内陸湖で発生した地すべりの発生場			
3-8	松浦純生	京都大学	海象現象と汀線に接続した地すべりの変位特性	土井一生 柴崎達也	平石哲也 土佐信一	大澤 光
3-9	楠本岳志	農研機構農村工学研究部門	地すべり活動に影響を与える融雪の発生標高に係る検討	土原健雄	中里裕臣	

15:45 ~ 17:00			地すべり調査・計測(3)			21日第3会場		
座長: 林一成 (奥山ボーリング株式会社)								
3-10	中里裕臣	農研機構農村工学研究部門	大規模地すべりブロック上部における 地下水流動解析のための比抵抗モニタリング(その2)			井上敬資 土原健雄	石田聡	白旗克志
3-11	美馬健二	有限会社太田ジオリサーチ	表層崩壊対策における物理探査等を用いた効率的な地盤調査法			川浪聖志	太田英将	北高穂
3-12	水谷滋樹	川崎地質株式会社	重力偏差データによる低密度表層域の推定					
3-13	木下篤彦	国土交通省 国土技術政策総合研究所	空中電磁探査と水位データを活用した栗平地区の崩壊メカニズムについて			田中健貴 田邊裕明	束原純 河戸克志	加藤智久 奥村稔
3-14	片山直樹	株式会社 日本海技術コンサルタンツ	地すべりに関するTips					

■口頭発表 2日目(8月22日)

【第1会場】

番号	発表者	発表演題	連名発表者
9:00～10:15 地すべり調査・計測(4)			22日第1会場
座長:土佐信一(国土防災技術株式会社)			
1-12	鶴見侑生 一般財団法人 砂防・地すべり技術センター	鷲尾岳地すべりにおける地下水位観測データの照査	向井啓司 戸村大 白石紘基
1-13	三浦竜 北見工業大学大学院	沿岸部で発生した再活動型地すべりのすべりプロセス	渡邊達也 山崎新太郎 土井一生 松浦純生
1-14	高木将行 国立研究開発法人土木研究所	変形ガイド管を用いた孔内傾斜計の挿入実験	木村太一 竹下航 杉本宏之
1-15	新井場公徳 消防研究センター	乱雑に積み上がった岩石の振動	土志田正二
1-16	藤原一啓 国立研究開発法人土木研究所	ディープラーニングによるすべり面の画像認識	櫻本智美 杉本宏之 藤平大

10:30～12:00 対策・維持管理			22日第1会場
座長:長谷川陽一(国土防災技術株式会社)			
1-17	向井啓司 一般財団法人 砂防・地すべり技術センター	予防的地すべり対策の優先度評価に関する考察	中谷洋明
1-18	草谷恭行 日本工営株式会社	滑動中の地すべり地における片側通行を確保した道路復旧工法	藤原民章 山下孝之 横山隆
1-19	山崎充 中日本ハイウェイ・エンジニアリ ング名古屋株式会社	グラウンドアンカーの緊張力の増加と降雨量についての一考察	酒井俊典
1-20	神山嬢子 国立研究開発法人土木研究所	既設アンカー緊張力モニタリングシステム(Aki-Mos)の導入実績調査	杉本宏之 竹下航 Aki-Mos研究会
1-21	佐藤義史 秋田県山本地域振興局農林部	秋田県における林野庁所管の地すべり防止区域の維持管理	今川順 小玉正和 高橋明久 河戸貴善
1-22	宮城輝一 一般財団法人 砂防・地すべり技術センター	亀の瀬地すべりにおけるCIMへの適用事例	向井啓司 八木啓太

14:00～15:30 事例報告(4)			22日第1会場
座長:児玉浩(日本工営株式会社)			
1-23	相楽渉 一般財団法人 砂防・地すべり技術センター	複雑な変動形態を呈する大規模地すべりの安定度評価について	鈴木真悟 高沢忠司 武士俊也 大角一浩 中山兼一 藤田和恵
1-24	林一成 奥山ボーリング株式会社	2015年ネパールゴルカ地震時の崩壊地の分析に基づく危険度評価モデル	檜垣大助 鄒青穎 八木浩司 S.C.AMATYA
1-25	横山賢治 日本エルダルト株式会社	結晶片岩類の地すべり地内における地下水挙動例	
1-26	稲垣秀輝 株式会社 環境地質	自然災害時の住民避難行動と防災・減災対応	
1-27	高山陶子 アジア航測株式会社	土砂災害への深層学習適用に関する考察	
1-28	井上公夫 一般財団法人 砂防フロンティ ア整備推進機構	歴史的な大規模土砂災害地点を歩く ～2010年4月25日の台湾北部第二高速公路の地すべり災害～	

【第2会場】

番号	発表者	発表演題	連名発表者
9:00～10:15 地すべり機構(1)			22日第2会場
座長:西山賢一(徳島大学)			
2-15	神原規也 株式会社エイト日本技術開発	深層崩壊の発生域傾斜角と傾斜量最頻値	
2-16	Chengrui CHANG Kyoto Univ	On the Pre-failure Shear Behavior of Clayey Soil	Gonghui WANG
2-17	Chao HUANG Kyoto Univ	Huge faults control on 2008 Wenchuan earthquake coseismic landslides distribution pattern	Yusheng LIU Chunhao WU Shujian YI Kai LIU Gonghui.WANG
2-18	大澤光 筑波大学	地すべりに隣接した斜面の積雪層内における 融雪水の移動経路に関する野外実験	松四雄騎 松浦純生 平島寛行 岡本隆
2-19	Khang DANG ICL	Preliminary simulation for Kure landslide triggered by heavy rainfall of July 2018	Kyoji SASSA Kiyoharu HIROTA Kazuo KONAGAI Duc Ha NGUYENH Huy Loi DOAN

■ 口頭発表 2日目(8月23日)

【第2会場】

番号	発表者		発表演題	連名発表者		
10:30～12:00 地すべり機構(2)				22日第2会場		
座長: 山崎新太郎 (京都大学防災研究所)						
2-20	大鶴泰史	株式会社アイエステー	日連続安定計算に基づく集水井対策の効果評価 その1 -三次元安定解析と実効雨量法を使って-	上妻良昌	江藤大	石川晴和
2-21	江藤大	株式会社アイエステー	日連続安定計算に基づく集水井対策の効果評価 その2 -実効雨量法と質点系ダンパーモデル(LMDM)を使って-	上妻良昌	大鶴泰史	濱崎英作
2-22	久保田浩路	国土防災技術株式会社	大分県耶馬溪町金吉地区における地すべりの災害発生機構	河野貴則 西野貴裕	佐藤亜貴夫 林久人	小川内良人 平石将太郎
2-23	小嶋孝徳	国土防災技術株式会社	再活動地すべりの崩壊前環境復元に関する考察	河野貴則	小野征一	
2-24	柴崎達也	国土防災技術株式会社	大分県耶馬溪町金吉地区で発生した地すべりの土質強度	河野貴則 佐藤亜貴夫	久保田浩路 神野郁美	佐藤亜貴夫 毛利貴子
2-25	土井一生	京都大学	海岸地すべり末端部の変形様式の一事例	松浦純生 土佐信一	大澤光	柴崎達也
14:00-15:30 地すべり機構(3)				22日第2会場		
座長: 古谷元 (富山県立大学)						
2-26	濱崎英作	株式会社 アドバンテクノロジー	質点系ダンパーモデルを用いた地すべり滑落予測モデルの研究(その1)	丸井英明 山邊康晴	柴崎達也 古谷元	池田浩二
2-27	倉岡千郎	日本工営株式会社	地震波の鉛直加速度成分を考慮した質点系の計算による限界加速度と残留変位			
2-18	吉村辰朗	第一復建株式会社	共役断裂を考慮した遷急線の形成機構			
2-19	Deepak RAJ BHAT	Okuyama Boring Co., Ltd.	FEM-based Numerical Analysis of a Creeping Landslide	Kenta KOTANI	Akihiko WAKAI	
2-10	横山俊治	深田地質研究所・株)荒谷建設コンサルタント	高知県「本山」地域の御荷鉾帯御荷鉾ユニットの地すべりの構造と素因	遠藤俊祐		
2-31	落合博貴	日本森林技術協会	千葉県富津市の自然斜面における現地崩壊実験	笹原克夫	小山佑介	

【第3会場】

番号		発表者		発表演題		連名発表者	
9:00～10:15				特別セッション2「地すべり防災にかかわる日本とアジア諸国の国際共同研究」			22日第3会場
				座長：佐藤剛(帝京平成大学)・Hoang Viet Hung(Thuyloi University of Vietnam)			
3-14	Akihiko WAKAI	Gunma Univ.	A simple prediction model for shallow groundwater level fluctuations in natural slopes subjected to heavy rainfall	Takatsugu OZAKI Go SATO	Akino WATANABE	Fei CAI	
3-15	Jessada KARNJANA	NECTEC	Image Fusion Method Used in Monitoring Landslide-prone Areas with a Visual IoT Camera System	Suthum KEERATIVITTAYANUN Ken T. MURATA			
3-16	Hoang Viet Hung	Thuyloi University of Vietnam	Introduction of landslide hazard in hilly terrains in Vietnam and landslide research planning of Vietnam side in e-Asia JRP	Nguyen Due Manh	Nguyen Quoc Thanh		
3-17	Nguyen Kim Thanh	ITST	Slope failure during construction new road in Vietnam	Toyohiko MYAGI Eisaku HAMASAKI	Din Van Tien		
3-18	宮城豊彦	株式会社アドバンテックノロジー	地域住民の共助・公助を通じた自主防災組織の活性化による 斜面災害防災力の強化	濱崎英作 佐藤英和	Nguyen Kim Thanh Dinh Van Tien		
10:30～12:00				特別セッション2「地すべり防災にかかわる日本とアジア諸国の国際共同研究」			22日第3会場
				座長：若井明彦(群馬大学)・Jessada KARNJANA(NECTEC)			
3-19	Do Ngoc Ha	University of Yamanashi	Khanh waterfall landslide in the limestone distribution area - Occurred in 2017 Northern Vietnam -	Tran Song Manh Nguyen Kim Thanh	Shinro ABE Satoshi GOTO		
3-20	廣田清治	国際航業株式会社	ブータン国の道路切土斜面における表層崩壊の事例	西村智博	桑野健	岩崎智治	
3-21	川上京一	株式会社 地球システム科学	近年スリランカにおいて発生した土砂災害の降雨相関 ならびに早期警戒体制の改善への支援	小池徹	和田知之	黒木正恵	
3-22	佐々恭二	国際斜面災害研究機構	日錫SATREPSプロジェクト 「降雨による高速長距離土砂流動災害の早期警戒技術の開発」	小長井一男 廣田清治	Khang DANG Asiri KARUNAWARDENA		
			(討論)				

■ 口頭発表 2日目(8月23日)

【第3会場】

番号	発表者		発表演題	連名発表者		
14:00～15:15 斜面安定				22日第3会場		
座長:新井場公德(消防研究センター)						
3-23	稲垣翔	信州大学	大規模地震動が火山地域の土質強度と 崩壊発生限界雨量に及ぼす影響に関する一考察	平松晋也		
3-24	安井俊平	名古屋工業大学	不透水層上部地盤の層厚が海底地すべり挙動に及ぼす影響	岩井裕正	木村真郷	張鋒
3-25	森一浩	群馬大学	降雨時の樹木根系の斜面崩壊抑止効果に関する遠心模型実験	坂本香菜子 後藤聡	江口和暉	若井明彦
3-26	渡邊暁乃	群馬大学	自然斜面内の地下水位上昇量の簡易予測モデル	尾崎昂嗣 佐藤剛 林一成	若井明彦 村田健史 山崎隆成	蔡飛 木村諒
3-27	北爪貴史	東電設計	CA/MA法による土砂流出シミュレーションの適用性検討	佐藤剛 後藤聡	Zhao ZHANG	檜垣大助

(公社)日本地すべり学会 研究発表会 熊本大会 発表プログラム

■ ポスター発表

【ポスターセッション コアタイム】

会場:ロースルーム

2日目(8月22日) 13:00~14:00

番号	発表者		発表演題	連名発表者
1	大丸裕武	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所	衛星クラウドを用いた準リアルタイム崩壊分布図の作成	村上亘
2	種平一成	株式会社エイト日本技術開発	熊本地震の道路法面被害に基づく崩壊危険箇所抽出と被害想定手法の検討	藤原康正 若井明彦
3	飯田智之	防災科学技術研究所	KiK-netおよびK-NETの記録から見た、斜面崩壊を伴う地震の特徴	山田隆二 佐藤昌人 徳井秀光 小野寺哲也 陳麒文 川邊洋
4	及川典生	国際航業株式会社	揚津地区地すべりにおけるGNSS計測	高見智之 佐藤匠 前田和則 加藤大佑 阿部周平 飯田大貴
5	佐藤剛	帝京平成大学	野根山街道・岩佐関所遺跡の立地と重力性山体変形地形	八木浩司 木谷一志 千田良道 廣田清治
6	木村諱	防災科学技術研究所	平成30年7月豪雨により四国中央部三波川变成帯の地すべり密集地域で発生した大規模崩壊	井口隆 山田隆二 佐藤昌人
7	張朝	帝京平成大学	AHP法を用いた山梨県南西部春木川上流域における土砂生産ポテンシャルの評価	佐藤剛 檜垣大助 後藤聡 北爪貴史
8	木村隆行	株式会社エイト日本技術開発	風化率と斜面崩壊形態の相関	沼知之 二木重博 工藤健雄 與那城稔 井上真
9	武田大典	株式会社パスコ	地すべり地形自動抽出のための深層学習(Dilated U-net)を活用した応用研究	篠原崇之 下村博之 櫻本智美 藤平大 杉本宏之
10	渡辺修	合同会社水文企画	水質に基づく地すべり地への地下水供給機構の検討(ベトナム北部石灰岩分布域の事例)	吉村和久 阿部真郎 Manh Song TRAN 藤井登 Tung Duc BUI
11	八木浩司	山形大学	中部ネパール・大ヒマラヤ山麓部の地すべり分布図の作成	檜垣大助 佐藤剛 林一成
12	中島祐一	日本工営株式会社	地すべり地材の繰返し三軸試験による動的変形特性の事例	倉岡千郎 柴崎宣之 齊藤淳
13	畠田和弘	日本工営株式会社	CIMモデル活用における設計と施工との情報共有に関する効果と課題	荒木孝宏 奥山剛 竹内昭浩 杉本宏之 亀田尚志
14	竹下航	国立研究開発法人 土木研究所	豪雨を起因とした地すべり災害発生と水文指標の関係について	杉本宏之
15	古木宏和	日本工営株式会社	深層学習による地形判読ー地質体毎の入力教師データと推論精度の関係ー	一言正之 稲垣裕
16	蔣 景彩	徳島大学	平成30年7月豪雨による福山市勝負迫池の被害調査	中野 晋
17	鈴木拓郎	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所	不飽和堆積物上の土石流の挙動	酒井佑一 劔持嵩之
18	酒井宏豪	群馬大学	平成30年北海道胆振東部地震における斜面崩壊発生場に関する広域的解析	若井明彦
19	鈴木聡	奥山ボーリング	石灰岩およびその周辺の地すべり	Manh Song TRAN 阿部真郎 Tung Duc BUI Luong Hong LE Thanh Kim KGUYEN Ha Ngoc DO
20	小谷健太	群馬大学	弾粘塑性有限要素法による地下水位と連動した地すべり運動のパラメトリックスタディ	大澤宗一郎 若井明彦
21	古谷元	富山県立大学	崩土載荷による二層構造の堆積域地盤の変形	長谷川雅俊 王功輝
22	大澤光	筑波大学	伏野地すべり地における地震時の間隙水圧変動	岡本隆 松浦純生 土井一生 土佐信一
23	神野郁美	国土防災技術株式会社	大分県耶馬溪町で発生した地すべり地の岩盤のスレーキング特性と水質	柴崎達也 河野貴則 久保田浩路 佐藤亜貴夫 小川内良人
24	柴崎達也	国土防災技術株式会社	由比地すべりにおけるボーリングコアの破碎性状と各破碎度の力学特性	杉本宏之 荒木孝宏 竹内昭浩 加藤仁志 高島誠 山崎勉
25	Mega Lia Istiyanti	山梨大学	Influence of smectite on soil material at landslide in Yabakei, Oita, Japan	後藤聡 落合博隆 藤原民章 柴崎宣之
26	秋山一弥	国立研究開発法人 土木研究所 雪崩・地すべり研究センター	新潟県高田平野南部における2018/19年冬期の気象と融雪の状況	原田裕介
27	櫻本智美	国立研究開発法人 土木研究所	ディーブラーニングにより抽出された地すべり地形の特徴	藤原一啓 藤平大 杉本宏之 後根裕樹 荒木光一
28	中村真也	日本地すべり学会九州支部	2016年熊本地震テフラ層地すべり・崩壊のすべり面について -火の鳥温泉,高野台及び大切畑地区の事例-	堤康博 福田順二 南場咲
29	経隆悠	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所	福岡県松末地区における平成29年九州北部豪雨で生じた流木の堆積状況	浅野志穂 鈴木拓郎 岡本隆 黒川潮
30	太田敬一	日本工営株式会社	アイトラッキングデバイスによるボーリングコア観察手法の技術伝承の試み	後藤裕子 古木宏和 浦元啓
31	五味杏汰朗	日本大学大学院	ネパールのBapak地域におけるSAR干渉画像を用いた地すべり性の地表変動の検出	佐藤浩
32	笹倉大督	スペクトリス株式会社	粘土粒子の粒子画像解析法とナトラッキング法による横断的な粒子特性評価に関する可能性検討	早内愛子
33	早内愛子	スペクトリス株式会社	粒子画像分析法による地盤中の各種粒子の精密評価	笹倉大督
34	浅野志穂	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所	大分県耶馬溪町の地すべり斜面の表面波探査	鈴木拓郎 経隆悠 黒川潮
35	岡本隆	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所	地すべり地に堆積する積雪層のせん断強度測定	大澤光 平島寛行 竹内由香里 松浦純生 柴崎達也 阿部修
36	野坂隆幸	国立研究開発法人 土木研究所	照度に応じた集水井内観察カメラの視認性の評価	秋山一弥 金澤瑛
37	土井一生	京都大学防災研究所	平成30(2018)年北海道胆振東部地震による厚真町における谷埋め盛土の崩壊	東良慶 釜井俊孝

番号			
38	森川智	和歌山県	立平地区地すべりにおける対策工の評価方法の提案
39	榎原伴樹	和歌山県	地すべり対策工の効果の検証方法について
40	佐藤浩	日本大学文理学部	熊本地震による斜面崩壊と阿蘇外輪山北西部の「お付き合い断層」の関わり
41	田口翔也	群馬大学	直立岩盤表面の変位量の測定値から開口亀裂を推定するための解析的試み
42	渡邊達也	北見工業大学	1周波GNSSモジュールを利用した地すべり同時多点観測システムの構築
43	平島寛行	防災科学技術研究所	地すべり発生における積雪の影響のモデル化にむけて
44	衛藤修平	長岡技術科学大学	背面地盤の変状を考慮した石積構造物の2次元DEMモデル
45	原田紹臣	立命館大学	崩壊斜面土塊の移動及び対策に関する研究
46	太田英将	太田ジオリサーチ	民間所有斜面の調査・評価・対策設計
47	杉本宏之	国立研究開発法人 土木研究所	地すべり対策におけるCIMの活用
48	宮城昭博	一般財団法人 砂防地すべり技術センター	地すべり分野におけるCIM導入ガイドライン(案)の策定とその活用
49	石黒梓	日特建設株式会社	長野県茶臼山地すべりの地下水排除工の目詰まりと集水機能調査
50	木村太一	国立研究開発法人 土木研究所	FEMを用いたアンカー荷重の感度解析について
51	坂東直哉	群馬大学	弾塑性FEM解析を用いた厚真町幌里地区の地すべりの発生機構の力学的検討
			岸畑明宏 坂口隆紀 榎原伴樹 崎山朋紀 木下篤彦
			崎山朋紀 岸畑明宏 坂口隆紀 木下篤彦
			宇根寛
			若井明彦 山本優介 古島広明 広嶺孝也
			三浦竜 山崎新太郎 松浦純生
			松浦純生 岡本隆 大澤光 柴崎達也 阿部修
			福元豊 大塚悟
			藤本将光 高瀬蔵
			川浪聖志 美馬健二
			竹下航 岩男忠明 石川一栄 倉本洋平 荒木孝宏 奥山剛 加藤仁志
			岩男忠明 倉本洋平 若井明彦 杉本宏之 荒木孝宏 道畑亮一
			竹下航 藤平大 杉本宏之
			神山嬢子 杉本宏之 藤平大
			田口翔也 若井明彦